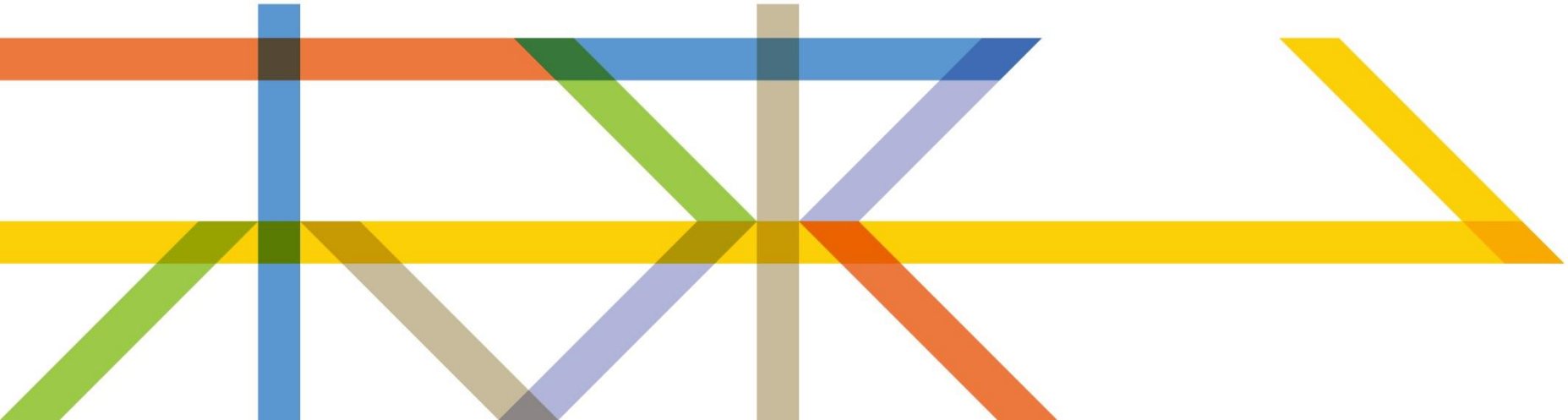
未来教育会議

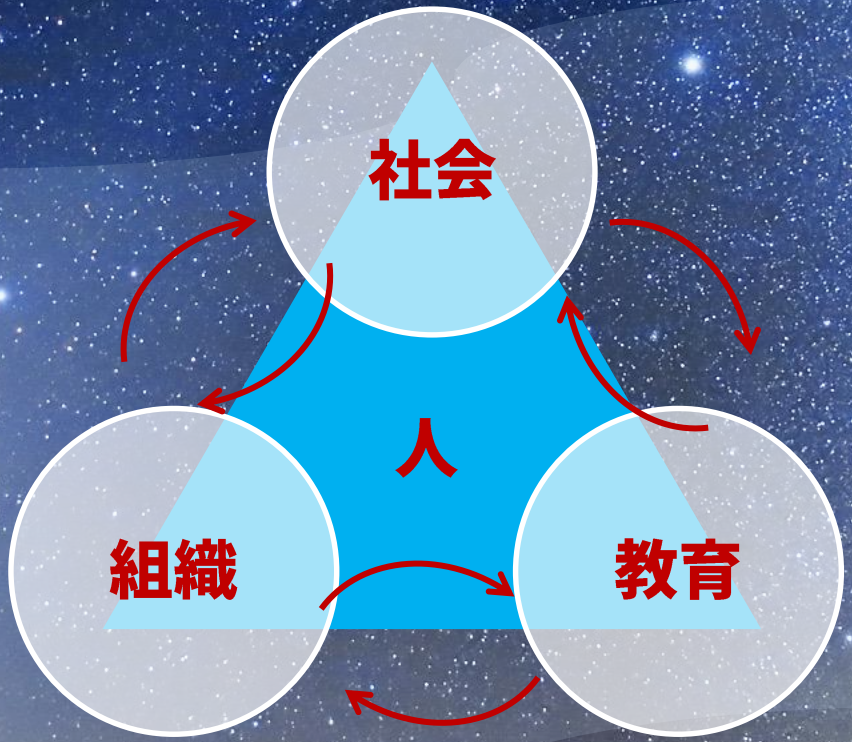


Why?

- 自立と共生が実現し、すべての人が自分を幸せにすることができる社会をつくる
- 主体的に考え、相互に関わりあい、問題解決できる力を持つ人を育てる
- 教育に関する柔軟性や自由さが担保されている社会をつくる
- 学校、家庭、地域、企業が共創して教育に関わり合う社会をつくる

How?

未来の「社会」「組織」「教育」のあり方を
マルチステークホルダーで共に考え、
共にアクションを起こすプラットフォームとなる



世界の流れ

2014.3.16

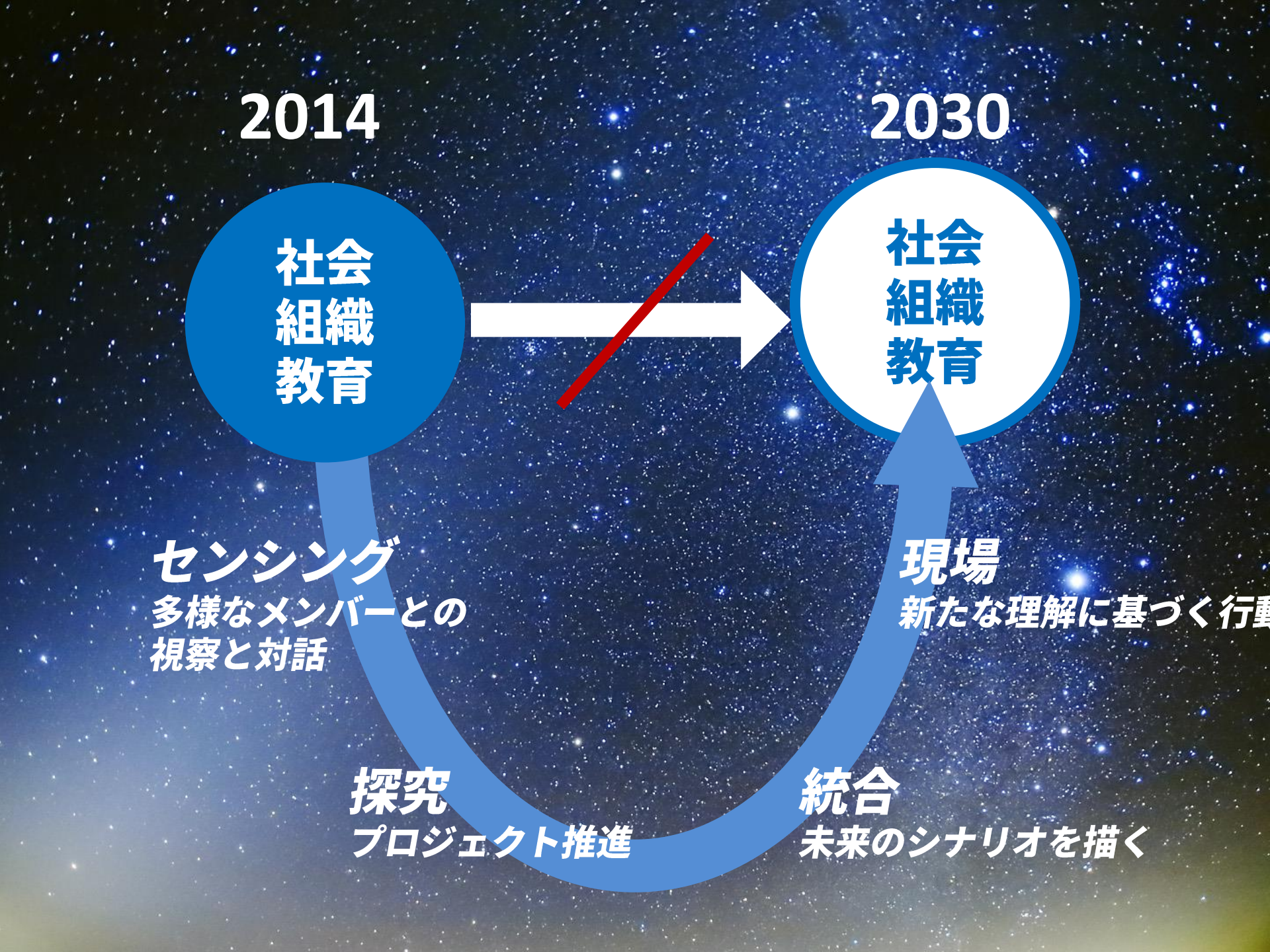
キックオフシンポジウム

実行委員会

- 代表　熊平美香／一般財団法人クマヒラセキュリティ財団
- 株式会社 教育と探求社／宮地勘司、福島創太
- 博報堂bemoチーム／兎洞武揚、原節子、山田聰、阿部京
- Ideal Leaders株式会社／永井恒男、丹羽真理
- 慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所
  ソーシャルデザインセンター

人一生の育ちプロジェクトメンバー

- 桑原香苗　／　土屋恵子　／並木通男


2014
2030
社会
組織
教育
社会
組織
教育
センシング
多様なメンバーとの
視察と対話
探究
プロジェクト推進
統合
未来のシナリオを描く
現場
新たな理解に基づく行動

時代の変化と
新しい教育観への脱皮

脱標準化
の世紀へ

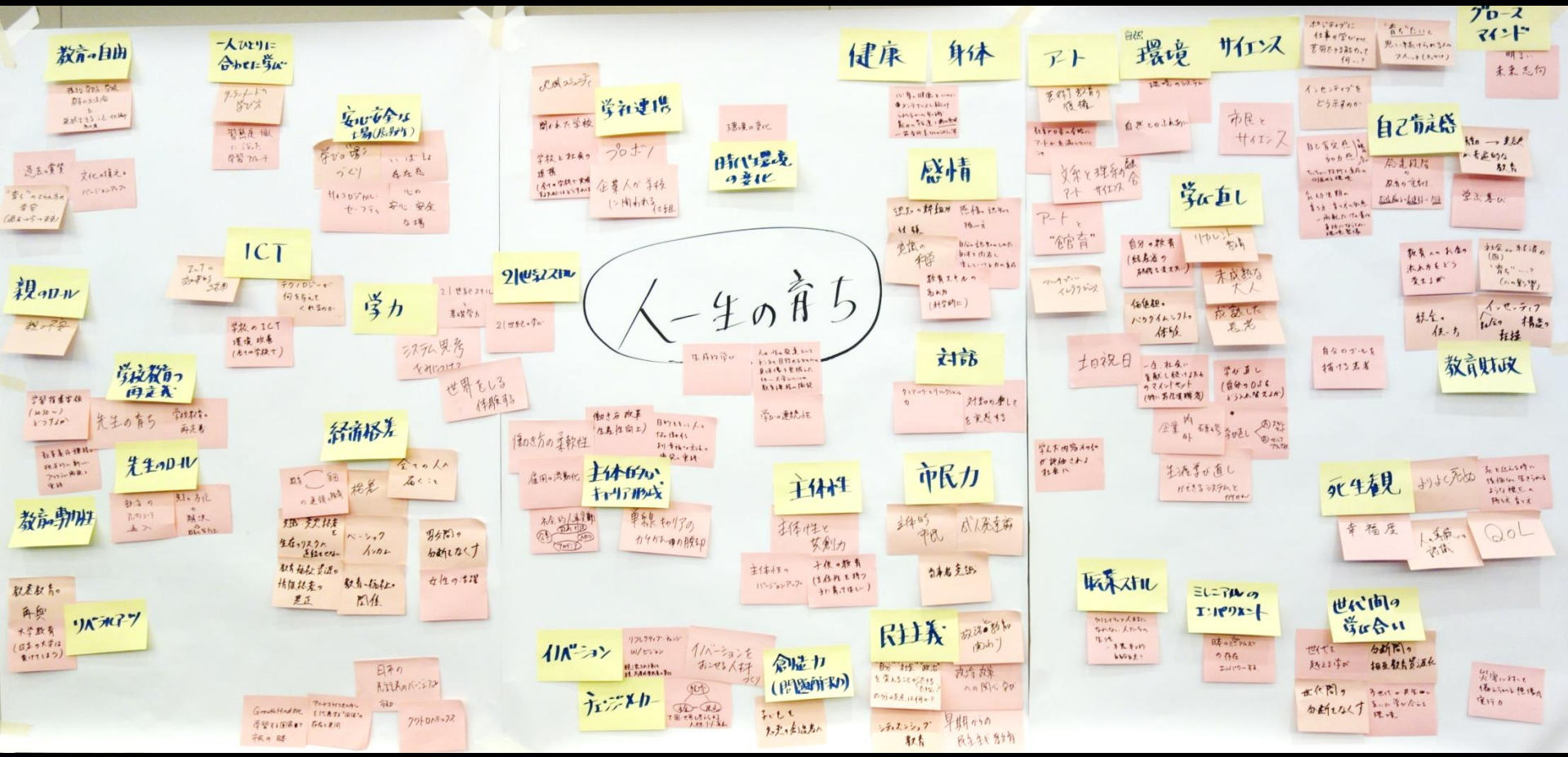
	20世紀	21世紀
時代	• 基準や標準 • 階層	• 可能性の最大化 • 共創
産業・社会	• エリート階層社会 • 工業中心社会 • 一様な価値基準と幸せ	• 共創的・有機的 • 情報中心社会 • 多元的な価値基準と幸せ
教育	• 同じ質とレベル • こども＝未熟な大人 • 認知能力中心の支援・評価	• 個々の才能・個性 • こども＝大人と異なる才能 • 非認知能力とのハイブリッド

脱標準化
の世紀へ

未来への新たな問い

問　い

人や組織や社会の可能性が
最大限、花開く
人一生の育ちとは何か?


人一生の育ち
教育の自由
一人ひとりに合わせた学び
安心安全な場(居場所)
学校の場
ICT
親のロール
学力
21世紀スキル
学校教育の再定義
先生の育ち
先生のロール
教育の動性
経済格差
リベラルアーツ
学社連携
プロボノ
企業人が学校に関われる仕組
時代環境の変化
健康
身体
感情
対話
主体的かキャリア形成
主体性
市民力
民主主義
イノベーション
チェンジメーカー
創造力(問題解決力)
アート
環境
サイエンス
市民とサイエンス
文系と理系の融合
アートと"館育"
学び直し
土日祝日
生涯学び直し
職業スキル
ミレニアルのエンパワメント
世代間の学び合い
自己肯定感
教育財政
死生観
幸福度
QoL
グローズマインド

人本来の育ちの可能性

幼保期

小学校期

中学校期

高校期

社会人期

大学・大学院期

人の育ちの可能性

20世紀型の社会システムや教育にとらわれず、
純粋に、人の育ちの可能性が*花開いた状態*を
知りたい。それを多くの人と共有したい。

統合的な視点

幼保期から成人期にいたるまで、

人一生の育ちを*統合的な視点*で捉えてみたい

指針となる地図

幸せな自分、組織、日本、世界であるために、
未来をつくる子どもたちや、今を生きる大人の
育ちや、働き方、生き方の指針になる
ような地図をつくりたい

自分や組織や社会の可能性が
最大限、花開いた状態で
生きることができる世界へ。

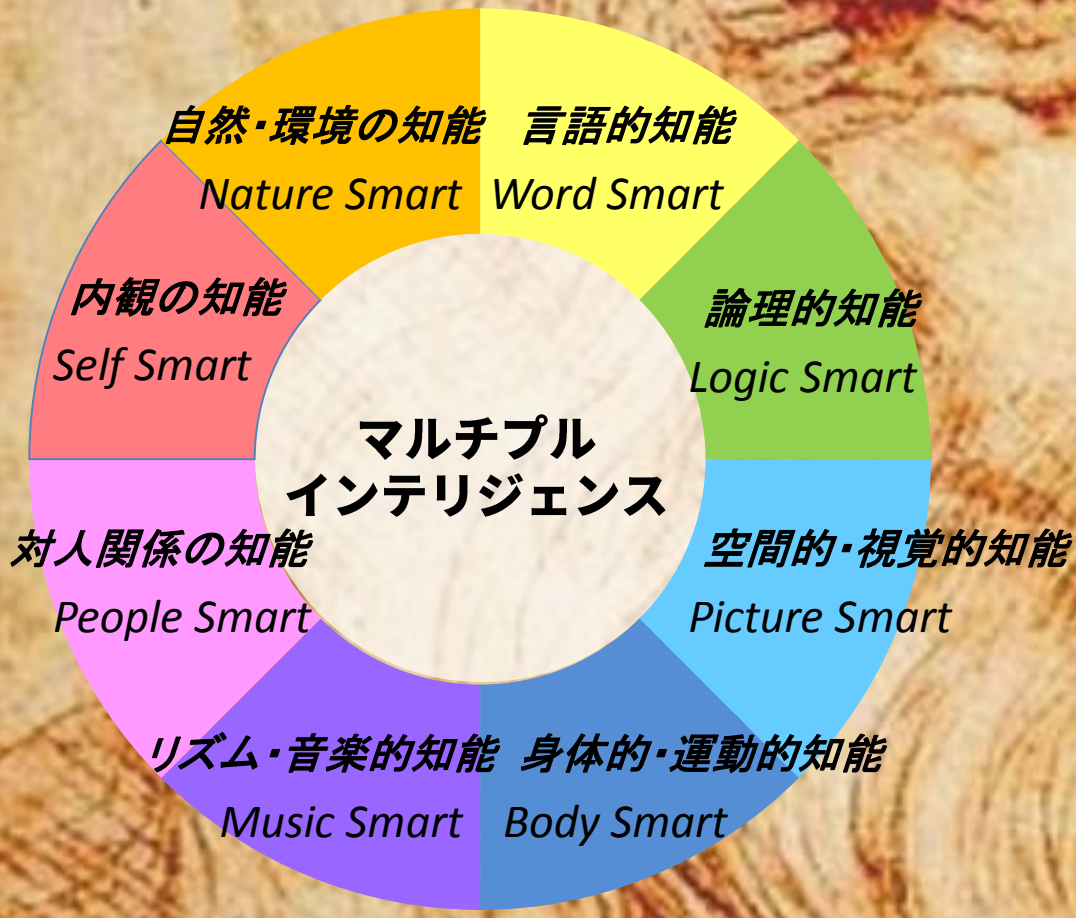
人一生の育ち
プロジェクト

大切だと思ったこと

一人勝ちができない世紀。
人類だけが勝つことができない世紀。

こどもは未熟な大人ではない

人は多様なインテリジェンスをもつ



人の育ちの基盤は社会情緒的能力

認知能力

社会情緒的能力

心がないと、知識をいくら教えてもそれを使えない

複雑方程式を解く3つの思考力

System Thinking
部分と全体のつながりから核心を見いだす

Design Thinking
人をみる、試す、発想する

Computational Thinking
人とコンピューターが共存する／抽象化能力

複雑な時代の価値創造

文化の中で人は育つ

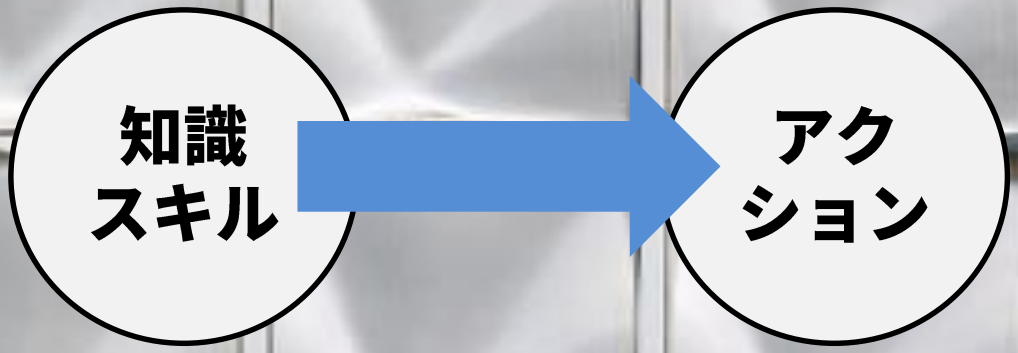
国民文化のプログラミングは10～12歳まで

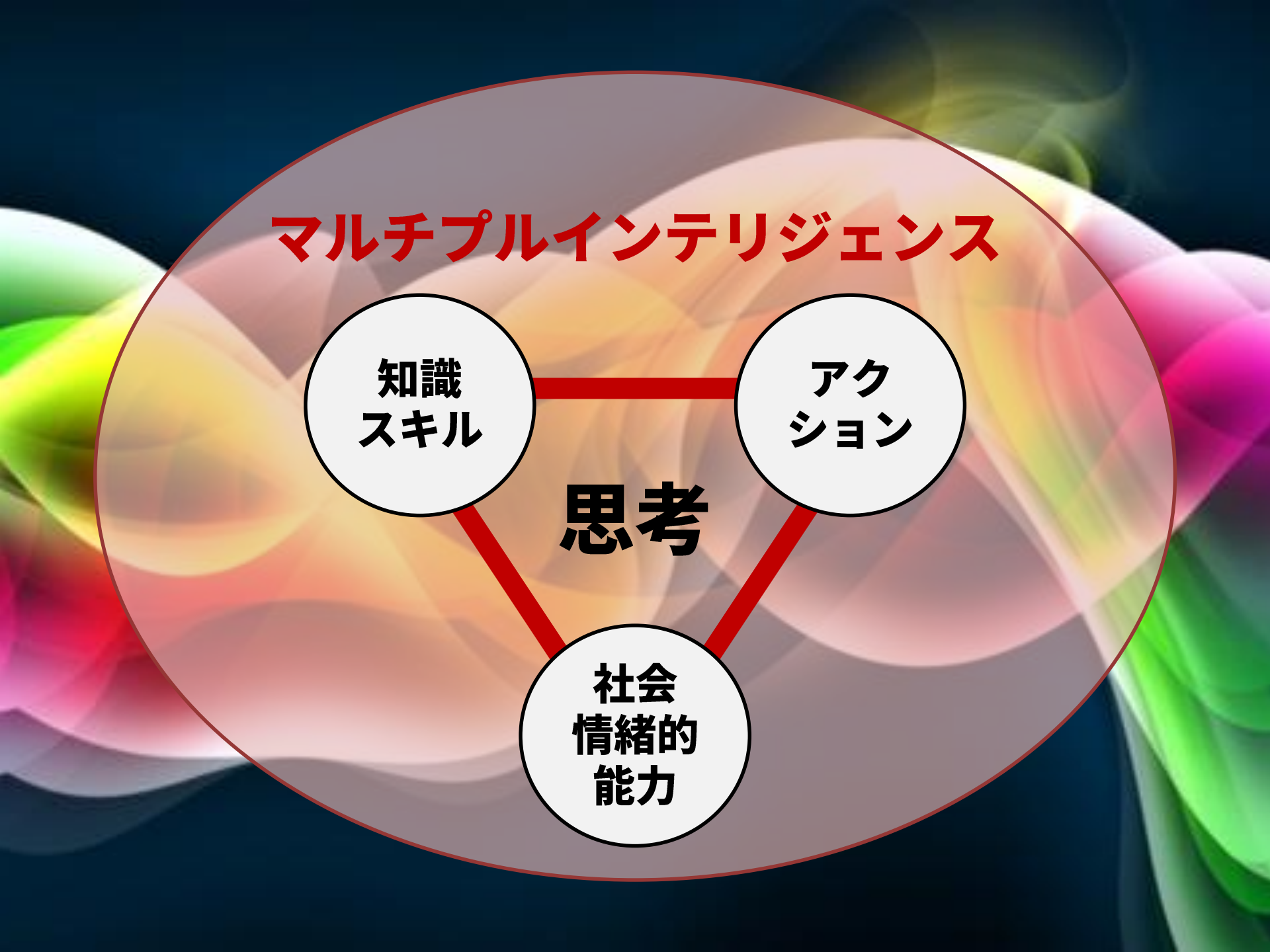
出典）*THE CHART OF FAMOUS EYEWEAR*

大人こそ、一生育つ

自分自身と柔軟な脳は周囲の環境とともに絶えず変化している。
することのすべて、そして遭遇すること、体験することの全てが脳を変えている。

Lara Boyd, PT, PhD
Canada Research Chair (Tier II) in Neurobiology of Motor Learning
Director, Brain Behaviour Laboratory
CIHR Delegate & Health Research Advisor to the VP Research

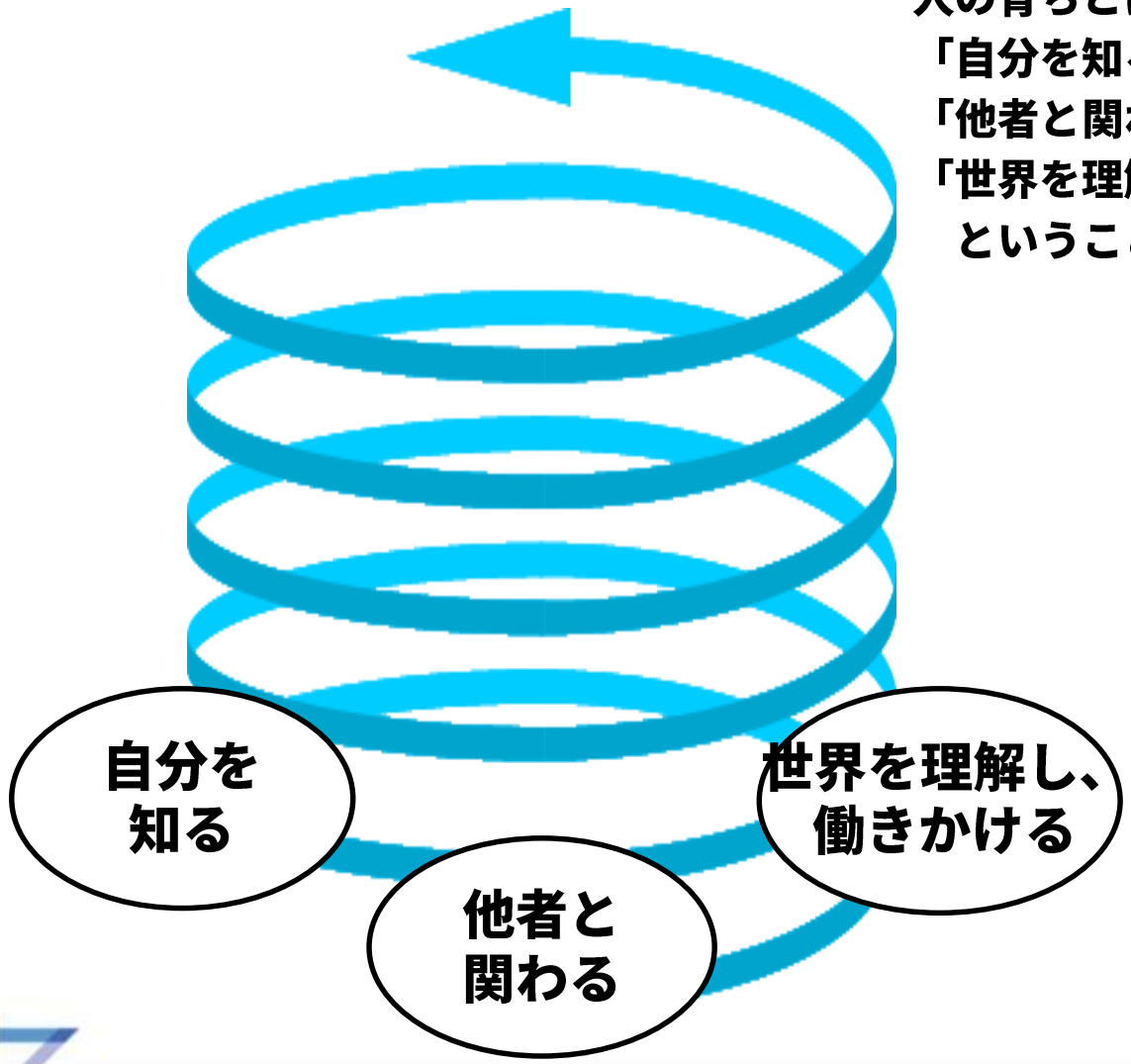

知識
スキル
アク
ション


マルチプルインテリジェンス
知識
スキル
アク
ション
思考
社会
情緒的
能力

人一生の育ちマップ

人の育ちの可能性

人の育ちとは、
「自分を知る」
「他者と関わる」
「世界を理解し、働きかける」
ということの螺旋的成長だ。



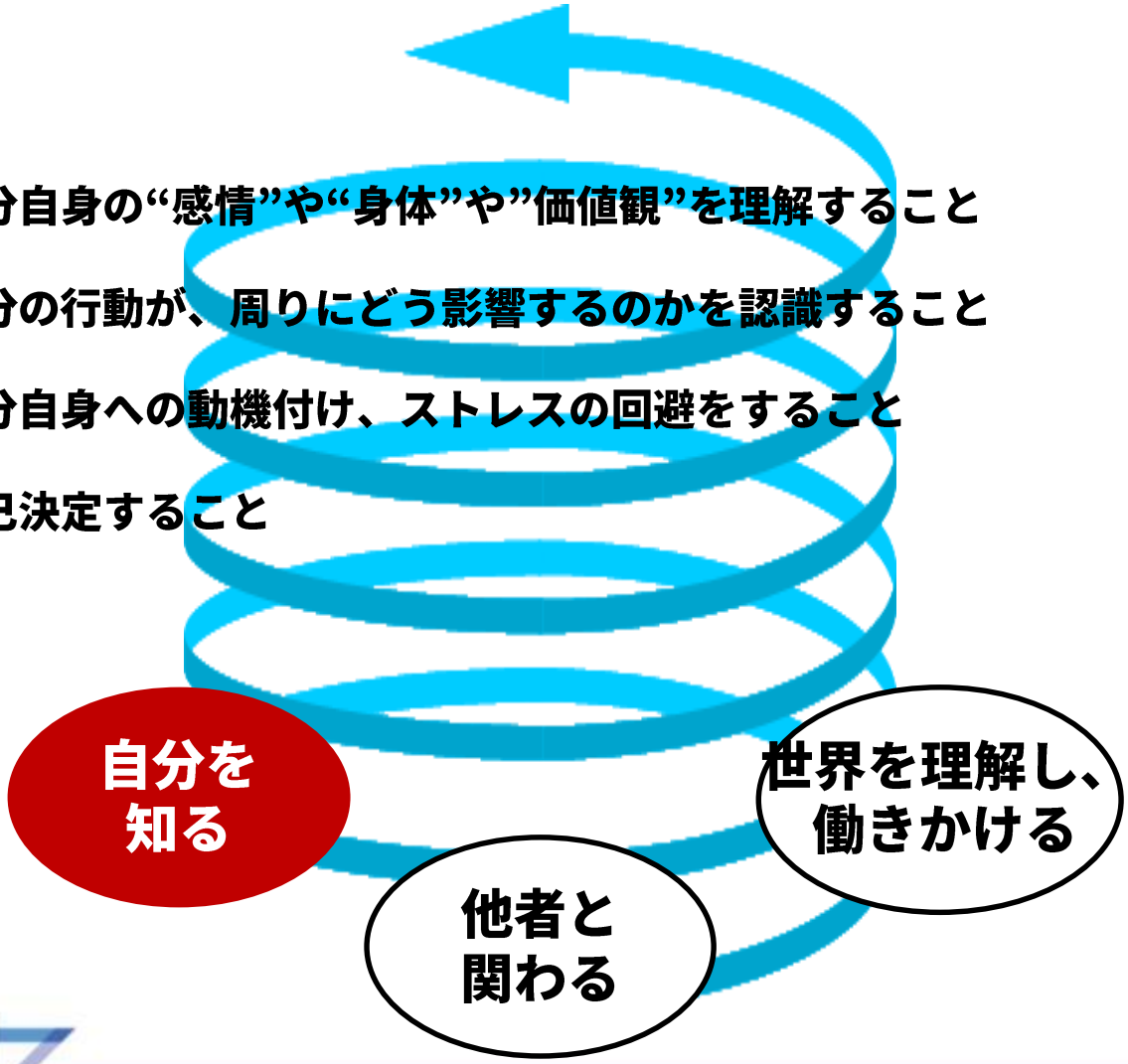
「自分を知る」

●自分自身の“感情”や“身体”や”価値観”を理解すること

●自分の行動が、周りにどう影響するのかを認識すること

●自分自身への動機付け、ストレスの回避をすること

●自己決定すること



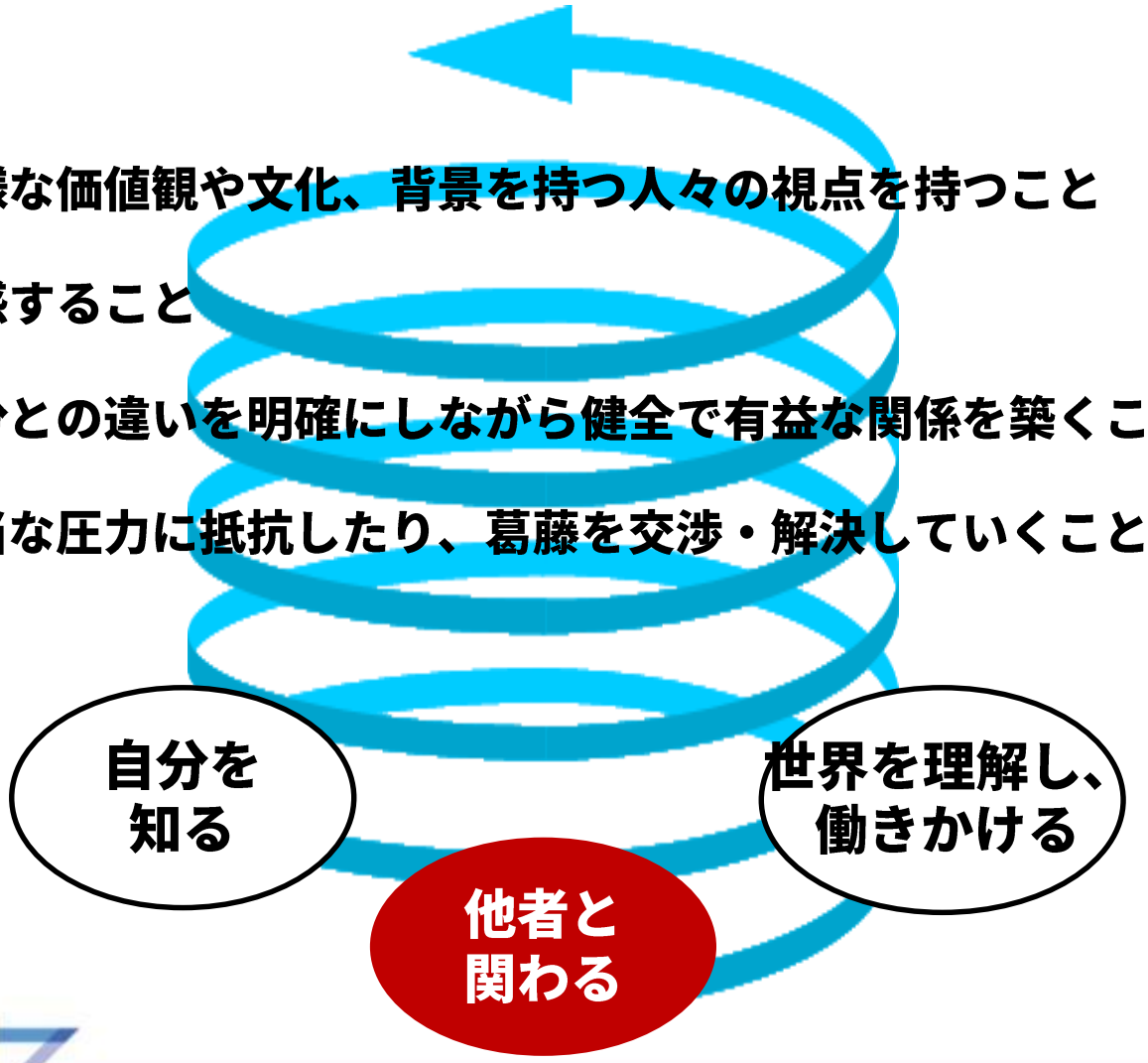
「他者と関わる」

●多様な価値観や文化、背景を持つ人々の視点を持つこと

●共感すること

●自分との違いを明確にしながら健全で有益な関係を築くこと

●不当な圧力に抵抗したり、葛藤を交渉・解決していくこと

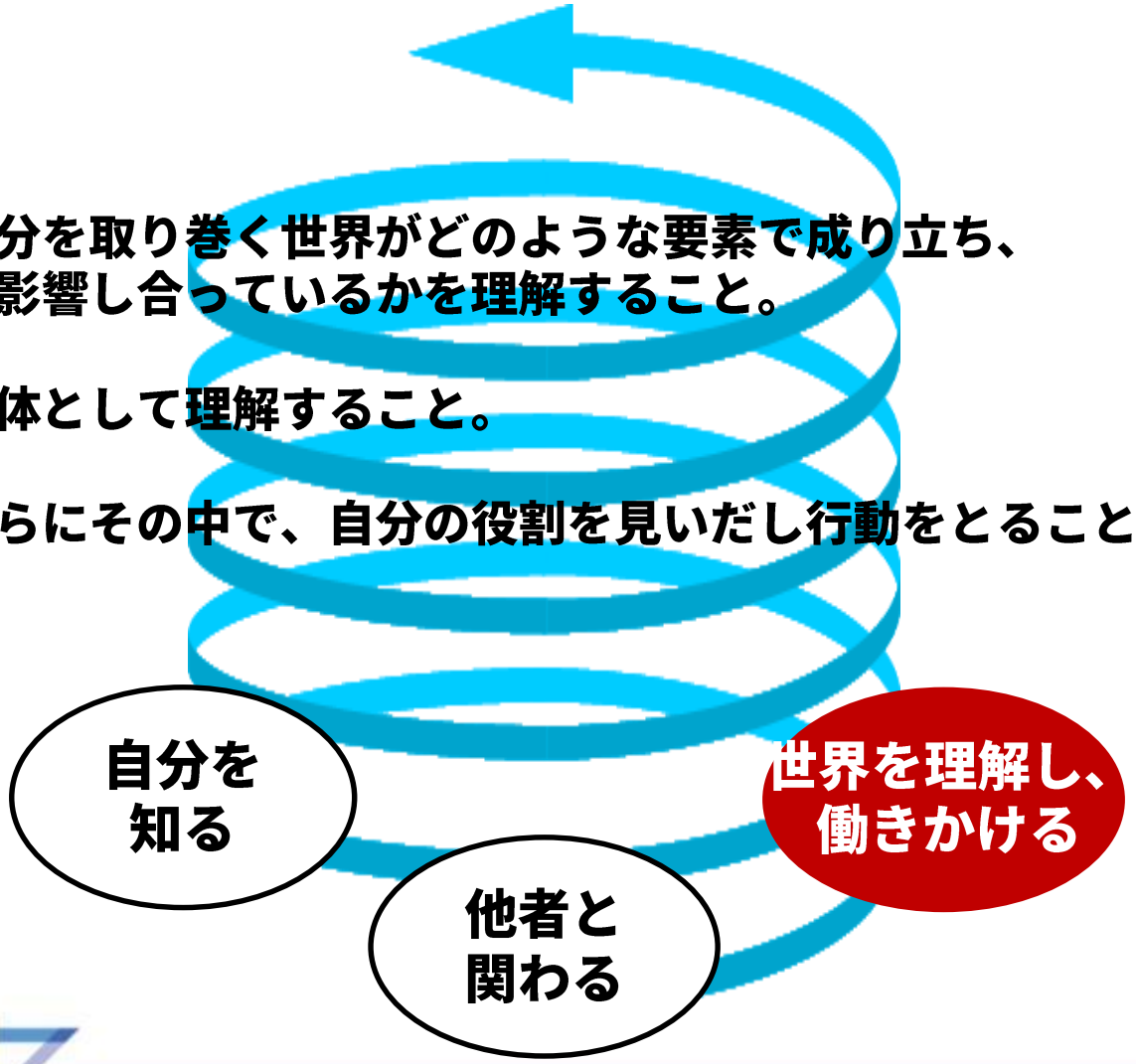


「世界を理解し、働きかける」

●自分を取り巻く世界がどのような要素で成り立ち、
どう影響し合っているかを理解すること。

●全体として理解すること。

●さらにその中で、自分の役割を見いだし行動をとることです。



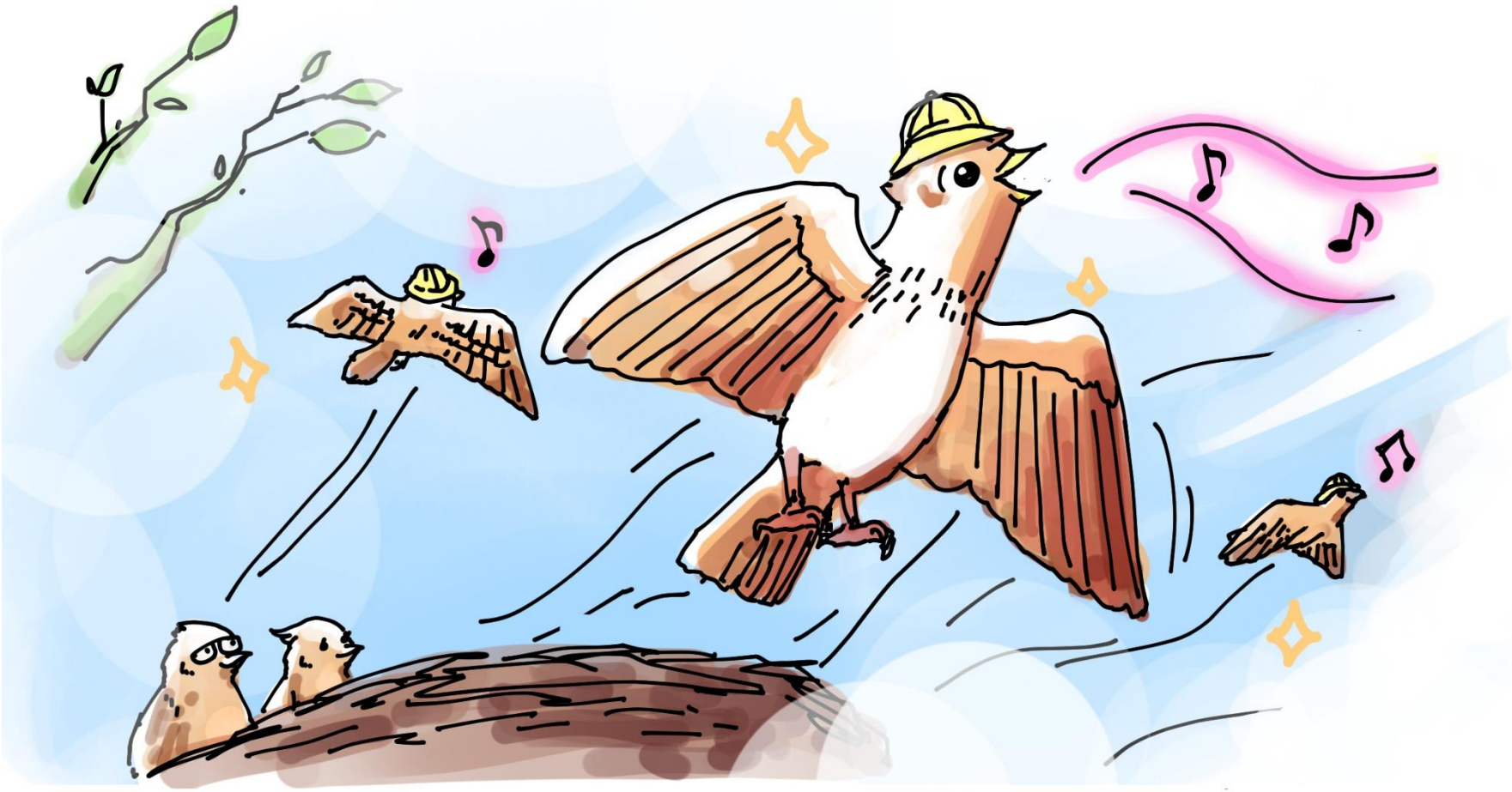
幼保期

自分は自分でいい

行動主体である主体性の感覚確立

自分は自分でいい

行動主体である主体性の感覚確立



森の幼稚園

小学校期

自分たちのことは
自分たちでできる

他者・社会との関係の基盤確立

自分たちのことは自分たちでできる

他者・社会との関係の基盤確立

ピースフルスクール

中学校期

私は
社会とつながっている
参加している

他者・社会との関係の基盤確立

私は社会とつながっている
参加している

他者・社会との関係の基盤確立

品川女子学院

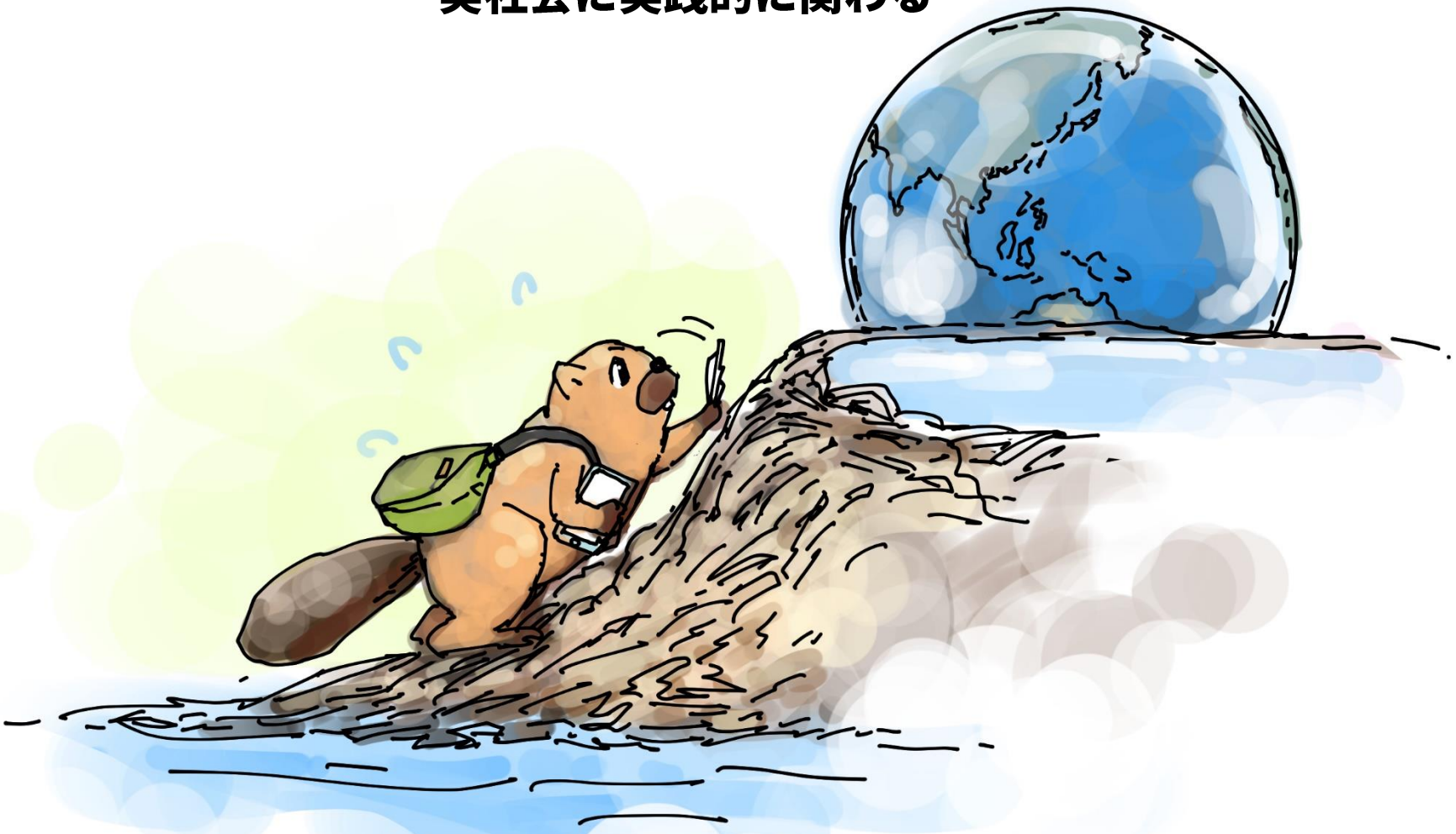
高校期

私は
世界を変えられる

実社会に実践的に関わる

私は世界を変えられる

実社会に実践的に関わる



徳島商業高校

自由高校

大学・大学院期

私は、知を創出する

社会の最先端・最深部の更新

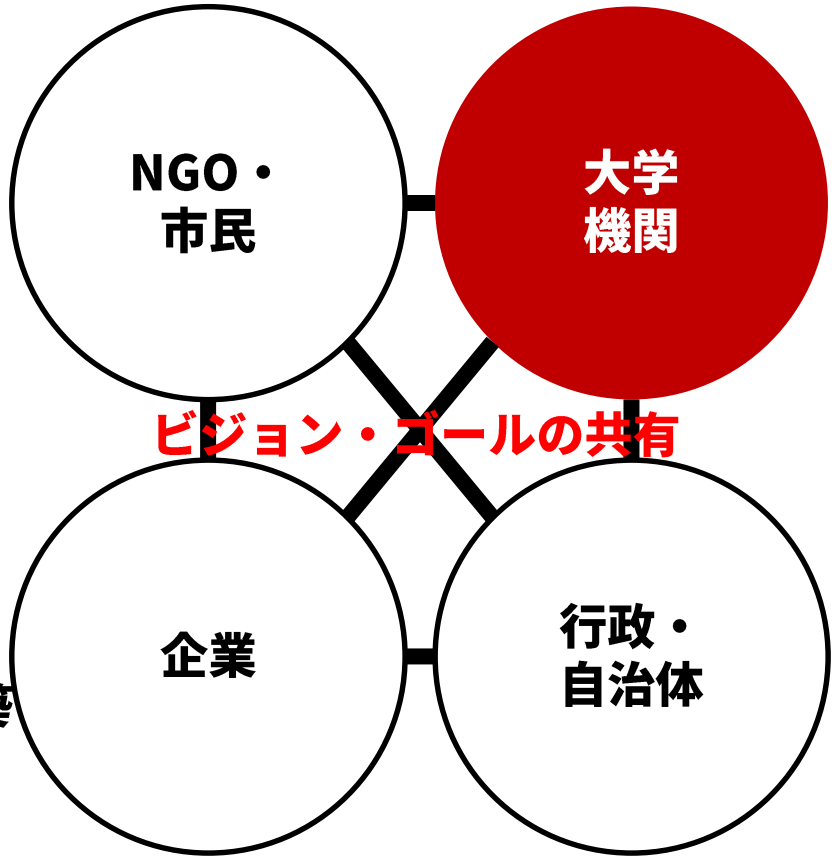
私は、知を創出する

社会の最先端・最深部の更新

オールボー大学とNOVI

「Quadro – helix」
産官学連携を高度なレベルで推進

市民の声・意見
特にデンマークモデルとして特徴的なステークホルダーが「市民」



知識創造の場
(単純なコンサルタントとしての役割ではない。様々な人と共同するときに、局地的知識ではなく俯瞰的知識を出してニーズを満たす役割)

ビジネス設計
ビジネスモデル構築

政策立案・制度設計
やファィナンス

社会人期

私が
私と世界を幸せにする

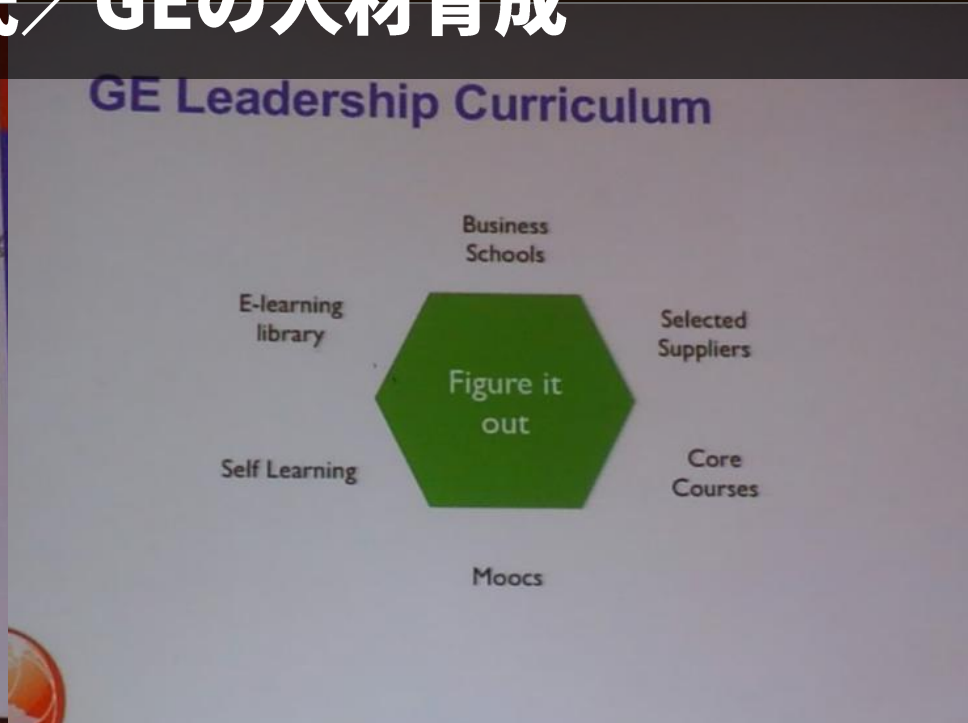
私は、自分の
成長をデザインし、
自分と周りを幸せにする

私が私と世界を幸せにする

私は、自分の成長をデザインし、自分と周りを幸せにする

ワーグ・ソサエティ

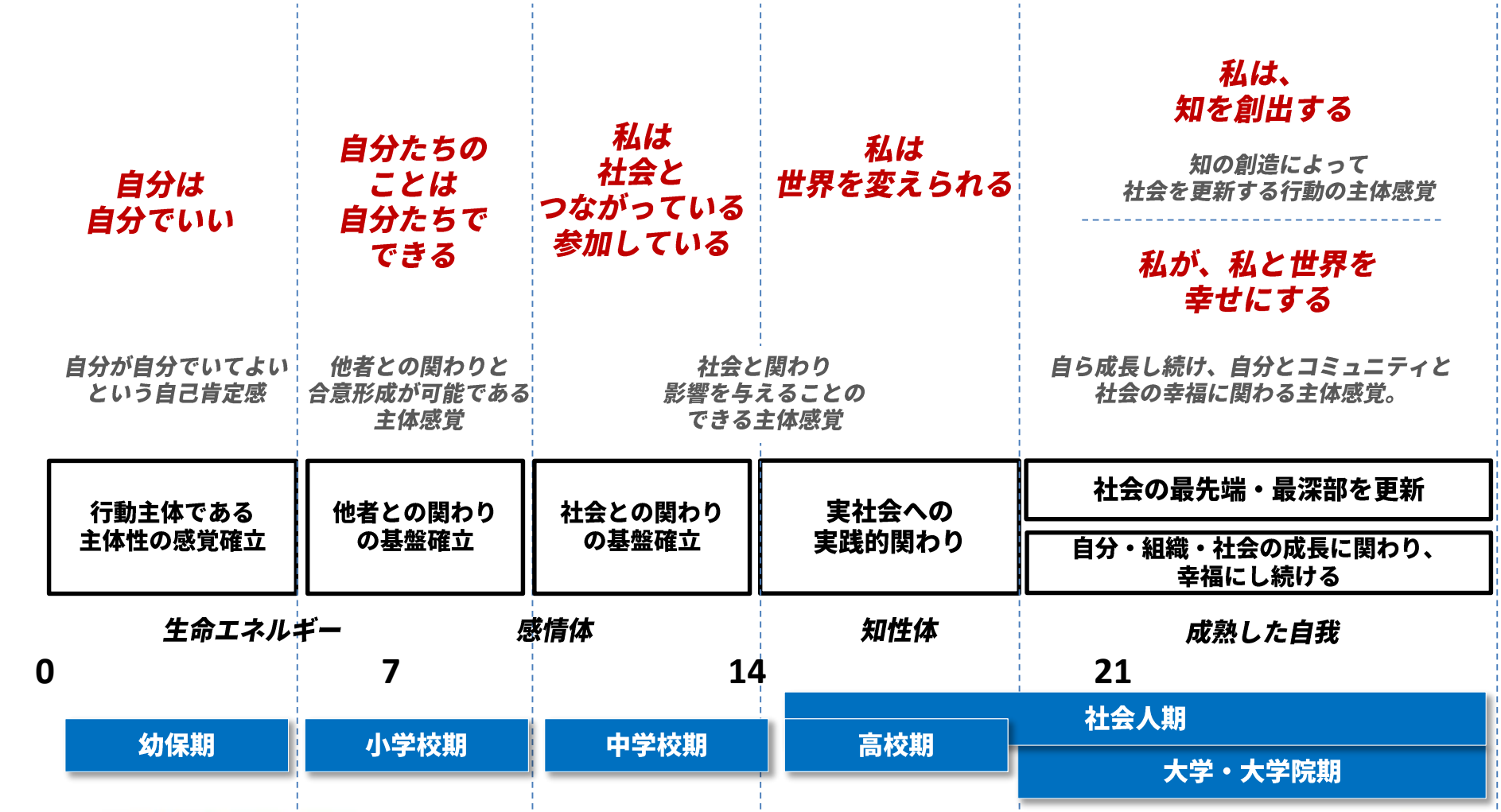
カーステン・トリプラー氏／GEの人材育成



SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標
1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

人本来の育ちの可能性


自分は
自分でいい
自分たちの
ことは
自分たちで
できる
私は
社会と
つながっている
参加している
私は
世界を変えられる
私は、
知を創出する
知の創造によって
社会を更新する行動の主体感覚
私が、私と世界を
幸せにする
自分が自分でいてよい
という自己肯定感
他者との関わりと
合意形成が可能である
主体感覚
社会と関わり
影響を与えることの
できる主体感覚
自ら成長し続け、自分とコミュニティと
社会の幸福に関わる主体感覚。
行動主体である
主体性の感覚確立
他者との関わり
の基盤確立
社会との関わり
の基盤確立
実社会への
実践的関わり
社会の最先端・最深部を更新
自分・組織・社会の成長に関わり、
幸福にし続ける
生命エネルギー
感情体
知性体
成熟した自我
0
7
14
21
幼保期
小学校期
中学校期
高校期
社会人期
大学・大学院期

人本来の育ちの可能性

幼保期 | 小学校期 | 中学校期 | 高校期 | 社会人期 | 大学・大学院期

育ちの支援

育ちの支援の根っこ

優れた支援者は、何を教えるのかではなく、
環境と器を全力で創っている。

そして、実は、アプローチは、多様。
というか多様であるべき。

大切なのは、アプローチではなく、根っこ。
根っこを語ろう。

幼保０歳～５歳の支援

行動主体である主体性の感覚を開花する時期

①絶対の肯定

②感じることと表現することを促す問いかけ

③自然の中で自分を確認していく体験の提供

④様々な人との関係の中で自分を確認していく体験の提供

⑤本人が興味や関心を持つことにそのままついていく

⑥対話による合意や選択の体験の支援

⑦発達過程の違いとマルチプルインテリジェンスへの理解

小学校～中学校期の支援

他者との関わりの基盤確立

① その場の全ての人が自分が自分として認められ、安心して学べる環境

② 自分たち自身の対話による葛藤解決や合意や選択の支援

③ 世界のつながりが浮かび上がる、学び。
- 地域との関わり、地域課題の解決に取り組んでみる体験
- 企業とのコラボレーションや起業疑似体験

④ キャリアや人生に対してのリフレクティブな問いかけ

高校期の支援

実社会への実践的関わり

① 自分たちで学ぶ環境を創り出すことの支援

② 実践的な、政策議論、ジャーナリズム、社会課題解決、起業などの体験と学び

③ キャリアや人生について、意味や深い目的とつながるリフレクティブな問いかけ

大学・大学院期の支援

社会の最先端・最深部を更新

企業は、そして社会は本当の「知」を必要としているだろうか？

逆に言えば、最高の支援は、本当の「知」を必要とすることではないか。

そうでなければ、大学が知を生み出す場には決してならない

社会人期の支援

自分・組織・社会の成長に関わり、
自分を幸福にし続ける

①いつ起きるかわからない人の学びのタイミングに応える場があること

②人材流動性を担保する学びを支援する社会的な仕組みがあること

③人一生の視点での人材育成のプロフェッショナル、研究、の存在

Orestad Gymnasium

フォルケホイスコーレ

STUDENTS
Elias
Klara
Pétur
Mimosa
Manu
Lola
Roberta
Paola
Carolina
Santiago
Juan
Charlotte
Casper
Melissa

フレキシキュリティ

産業構造の転換に適応した人材流動
が容易で経済も刺激。
個人にとっても、企業にとっても、
国にとっても、ベスト

労働市場の柔軟性
（解雇規制の緩和）

黄金の三角形

手厚い
失業給付

次の仕事に
移るための
教育プログラム

デンマーク外務省の取材より作成

アクション目標設定

21世紀の人の学び・働き方・生き方

私と世界を幸せにする働き方・生き方

組織：GE／ティール組織

地域：Waag Society

世界：SDGｓ

生涯の学び

フォルケホイスコーレ

フレキシキュリティ

自己肯定感が育まれ社会と結びついた学び

自由高校

徳島商業

森の幼稚園

品川女子

Orestad Gymnasium

ピースフルスクール

知の創出

オルボー大学

クワトロヘリックス

アクション目標設定

1. 時代の変化を踏まえた教育を実践し、それを常に進化させていこう
2. 人が本来持っている多様な力を伸ばすための方法や仕組みを考えよう
3. 家庭・学校・地域・企業をつなげ、社会全体で学校教育に取り組もう
4. すべての子どもの尊厳を守ろう
5. 経済格差と教育格差の連鎖を断ち切ろう
6. 先生のやりがいを支え、未来に向けた先生の成長を応援しよう
7. 大学を中心に知的創造社会をつくろう
8. 大人の育ちを支える仕組みを議論し、創りあげよう
9. 人を評価するということについて、議論をしよう
10. 教育への投資を社会で考え、公的教育投資を広げよう
11. 人一生の育ちを統合的に考え行動する意識を持ち、それを支える仕組みを更新し続けよう

人一生の育ちを最大限に開花するために、
あなたが
アクション目標に加えたいことや
大切にしたいと思うことは何ですか?

アクション目標を共創しよう

未来教育会議は、
みなさんとともに、人の一生の育ちを
実現するためのアクション目標を
考えていきたいと思います。
みんなでつくるアクション目標を

2018.10.5に発表

します。

ありがとうございました！